

新潟県療育研究会 第5回学術集会
新潟県立特別支援学校における医療的ケアを安全に実施
するためのガイドラインを踏まえた教育活動の充実に向けて

医療的ケア中核病院について

独立行政法人国立病院機構新潟病院

地域医療連携相談室

清水 太郎



目的

- 令和3年度「医療的ケア実施支援体制（試行）」の中核病院として、人工呼吸器の取り扱い等にかかる実施支援体制の構築等、保護者と学校、主治医だけでは対応が難しい課題に対する相談、指導助言、研修の提供が行われる体制を構築する。
- 隣接する柏崎特別支援学校と連携を図る。



経過

令和3年4月

<医療的ケア実施支援ワーキンググループの立ち上げ>

構成メンバー

小児科医長、副看護部長、理学療法士長、庶務班長、臨床工学士
病棟看護師長、特定行為看護師、地域医療連携係長、地域医療連
携相談室副看護師長、医療社会事業専門員、
柏崎特別支援学校教頭、特別支援学校医療的ケア担当教諭



<キックオフ ミーティング 開催>

- 令和3年度の医療的ケア実施支援体制（試行）について、医療的ケア中核病院の目的を共有する
- 「県立特別支援学校における医療的ケアを安全に実施するためのガイドライン ～安心して教育を受けるための医療的ケアの手引き～」
（令和3年3月 新潟県教育委員会）について読み合わせを図る

「多職種連携システムの構築」について

- 学校看護師の要になる
- 「人が変わればやり方が変わる」ではなく、継続して同レベルで対応できるシステムを作る
- 学校（教員・看護師）、保護者、主治医では解決できない課題は、地域連携室が相談窓口となる
- 相談の情報共有を図るための工夫、仕組みづくり、情報シート等の検討が必要である



医療的ケア実施支援体制（案）

部門	支援内容
地域医療連携室	情報収集・発信 医ケア実施支援マネジメント窓口
医師	医療相談 診察・健康管理 治療
特定行為看護師（看護師）	吸引指導 経管栄養管理指導 胃ろう管理指導 気管切開管理指導 導尿・吸入・酸素吸入指導（学校看護師）
リハビリ	ポジショニング 車いす・装具 意思伝達装置 環境制御装置
臨床工学技士	人工呼吸器取り扱い 酸素取り扱い
MSW	福祉相談 地域連携調整
学校	学校の支援体制づくり 校内研修 見学対応

医ケア中核病院 相談記録

相談受付日 年 月 日

当該児童基本情報

フリガナ	生年月日		性別
氏名	昭和 平成 令和		男・女
住所	電話番号		
〒			
学校名	特別支援学校		

相談者

児童・家族（父・母・祖父母・他）	学校看護師	認定教員	その他
フリガナ	連絡先		
氏名			

相談内容

口腔吸引	鼻腔吸引	胃瘻・腸瘻栄養	経鼻栄養	その他
具体的な相談の内容				

記載者



<相談 ケース1>

連携している柏崎特別支援学校教員から県内A特別支援学校の相談ケースの内容が紹介された

- ワーキンググループリーダー小児科医長へ内容について報告する
- 構成メンバーへ相談内容の共有、役割の確認を図る
- 学校間、学校と病院間の連絡窓口：地域医療連携相談室
- 医療的ケア（人工呼吸器の取り扱い等）：臨床工学士
- 学校生活上のケアに関すること：特定行為看護師、医師、看護師



＜ケースカンファレンス 開催＞

- 県内A特別支援学校の相談ケースについて状況を報告する
- 今後の医療的ケア(人工呼吸器などの管理・チェック)、学校生活上必要なケアについて検討する
- 学校生活上での生徒の体調や人工呼吸器の設定条件など詳しい情報(個人情報取り扱いについて留意を図り対応する)
- 医療的ケアリーフレットの作成について情報提供を図り、支援・指導する
- 人工呼吸器の業者から呼吸器設定表について情報提供を受ける
- ZOOMを使用して意見交換を図る



今後の取り組み

- 「解決できない課題」の相談-ケース1提供した県内A特別支援学校へ継続的に指導・助言を行う

国立病院機構新潟病院は

医療的ケア中核病院です

安心して教育を受けるために
特別支援学校等における医療的ケアを支援します

令和3年3月、新潟県教育委員会で「県立特別支援学校における医療的ケアを安全に実施するためのガイドライン」が改訂されました。令和4年以降各地域に「医療的ケア中核病院」を位置づけるに先立ち、特別支援学校における医療的ケア、呼吸器対応に精通し実績のある国立病院機構新潟病院が、令和3年度新潟県立特別支援学校「医療的ケア実施支援体制（試行）」の中核病院となりました。お子様の医療的ケアの問題の支援として以下を行っています。

医療的ケア支援中核病院としての役割

- *人工呼吸器の取り扱い等に係る実施支援体制の構築
- *保護者と学校、主治医だけでは対応が難しい課題に対する相談、指導助言
- *人工呼吸器に関する研修の提供

どんな相談にもお応えします

- *人工呼吸器をつけて、安心して登校してほしいけどどこに相談しよう？
- *学校看護師だけど、医療的ケアの技術が不安。どうしよう・・・
- *医療的ケアの児童を受け入れる準備はこれでいいのかな？

★★★費用はいただきません★★★

多職種専門スタッフが皆様を支援します！

臨床工学技士
社会福祉士

特別支援学校教員
地域医療連携看護師

小児科医師
特定行為看護師

お問い合わせ連絡窓口
独立行政法人国立病院機構新潟病院
地域医療連携相談室 清水 太郎
TEL：0257-22-2126（内線 1246）

独立行政法人国立病院機構
新潟病院
〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町3-52
TEL：0257-22-2126（代表）
<https://www.nisata-nh.jp/>

